

チャレンジし限界に挑む現役生に!

●浦高同窓会令和3年度第3回理事会を終えて!

3月20日(日)の13時30分~15時は、(一社)浦高同窓会令和3年度第3回理事会が行われました。今回も、コロナ対策で麗和会館会議室とWEBでのハイブリッド会議で31名中21名の理事が出席して、令和4年度の事業計画や予算、社員総会提出議案などについて審議しました。

開会にあたり、
野辺博会長〔24回〕のご挨拶。

「皆様、こんにちは。最近の世界情勢では、ロシアによるウクライナに



対する武力侵攻が続いており、多くの人々が心を痛めております。また、東日本では先日の福島県沖の大きな地震により、改めて自然の恐ろしさと防災への備えの大切さを痛感したところです。さて、本日は新年度の事業計画と予算案、さらに6月の総会に向けた役員人事などを審議させていただきますので、よろしくお願い申し上げます」〔写真は同窓会HPより引用〕



次に、顧問の水石明彦校長〔32回〕からのご挨拶。

「同窓会の皆様には、日頃から学校運営に対し

てさまざまな面でご協力をいただきありがとうございます。早いもので来週23日には卒業式を迎え今年度が終わりますが、16日には第74回の351名への卒業証書授与式を無事に終えることができました。この時期には、東大合格者数が話題になりますが、今年は現役が17名、浪人を合わせて27名と昨年よりも少ない状況でしたが、全国の国立大学や医学部等を含めると昨年度と変わらない合格者数を出しております。浦高生の特徴は、自分の進路を含めてしっかりと目標を定めて取り組んでいることで入試の結果に表れています。一方、私が赴任してからの2年間はコロナ禍に翻弄された2年間であり、昨年度は学校行事もできませんでしたが、今年度は夏の臨海学校、修学旅行、強歩大会と概ね実施することができました。さて、浦高の良さは生徒たちの自主性と協調性もありますが、保護者同士のネットワークの強さです。その保護者の皆さんが行事に参加していただけなかった2年間は、そうした力が弱くなっているのではないかと危惧しています。浦高らしさを上級生から下級生に伝えている伝統行事と同様に、上級生と下級生の保護者の皆さん

がさまざまなコミュニケーションを取りながら進めている活動ができずに、一般的な風潮に流されていくことを心配しております。浦高生のメンタルが弱まっていることが大きな心配でもあります。世の中の空気感、リスクを回避し、チャレンジせずに楽をして結果を求めていく、自分の力の限界を出さずにサポートを受けながら進んでいくことを是とする空気感は、浦高が目指すものではないと思います。ぜひ、同窓会の皆様には、これからも浦高生を支えていただくとともに、浦高の良き伝統を温かく見守ってほしいと思います」

〔写真は浦高HPより引用〕

今年3月で定年退職される水石校長のご挨拶には、ズシンとくるものがありました。

お二人のご挨拶に続き、議事に入りました。

◇ ◇

■議案1 令和4~5年度役員人事(案)

浦高同窓会の役員の任期は2年間であり、また理事には75歳定年制があるため、副会長の田中喧二様(高16)と加瀬豊様(高17)が勇退され、その後任を含めた理事の人事案が審議され、理事会での承認を受けて、6月の社員総会に諮られることになりました。

■議案2 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)

4月からスタートする新年度の事業計画と予算については、理事会で承認され、社員総会では報告事項となる内容で、慎重に審議され両案共に可決されました。

【事業計画】

- ・社員総会〔6月26日〕や理事会などの日程
- ・浦高ビジネス人材ネットワーク 初回総会日程
- ・浦高百年の森〔夏と秋〕の日程
- ・会報麗和〔第65号発送、第66号の編集〕
- ・麗和セミナー委員会の日程
- ・同窓会ゴルフ大会の日程
- ・地域職域同窓会責任者会議の日程

などが決まりました。浦高ビジネス人材ネットワーク事業は、金融界と商社界の二つのグループで横のネットワークを創りあげていこうというものです。

【予算】

- ・収入が885万円余、支出が1,087万円余と令和3年度とほぼ同様の予算が組まれました。前期繰越金を含めた正味財産は6,000万円程度になります。

◇ ◇

4月17日(日)には、新年度第1回の理事会があり、令和3年度の決算が諮られ、6月26日(日)の社員総会／会員総会に向けた議案等がすべてまとまる予定です。同窓会が一般社団法人になって3年目の令和4年度、野辺会長を支えて私もしっかりと副会長の役割を務めていかなければと心を引き締めたところです。

3年後の2025年10月には130周年を迎える母校のために、同窓会としてさまざまな支援と協力ができれば嬉しいことです。